



活動事例 28

プロジェクト



毎週1回行われる長谷おしゃべりクラブ。最近は、集落外からの参加者も増えました。(南さつま市金峰町大坂長谷コミュニティ消防センター)

団体の紹介 *introduction*

南さつま市で地域住民や行政と協力し、文化事業、自然とのふれあい等を通じた社会貢献活動としてのまちづくりを行っています。



長谷おしゃべりクラブ。レクリエーションやスポーツ、おしゃべりをして皆で楽しく過ごします。

メッセージ Message

南さつま市大坂地区の過疎地域の自立・活性化に取り組んできました。交流人口拡大のため、棚田作りをはじめ、資源や歴史を生かす活動を積み重ね、地域の絆をつくってきました。平成24年度は地域の人々の要望とご協力で「大坂ふれあい館」(物産販売所)をはじめ、地域の各家庭に日用品を配送する移動販売も平成24年10月から開始しています。「絆」や「縁」を今後もつなげていけるよう努力をしていきたいと考えています。

みなみ ちょう りゅう 南からの潮流

主な活動内容 *action*

1 ギャラリー運営事業 (市民ふれあいギャラリー)

平成9年より市役所ロビーで、企画・運営をしています。短歌・書・絵画等の作品の多くは高齢者の手によるものです。生きがいくりの一環になっています。

2 まちづくり推進事業

○平成24年度「住まい・まちづくり担い手事業」(加世田麓地区の歴史的建物を活かした災害に強い街づくり)

江戸・明治・大正・昭和の建物が現存している「加世田麓地区」の歴史的建造物の保存と景観について、地域の人々と話し合いながらワークショップをする事で意識改革をしていく事業を行っています。

○長谷おしゃべりクラブ(長谷集落到に住む方々を中心にしたお楽しみ教室)

陶芸の楽しさを味わってもらったり、高齢者の体操教室やカラオケ教室を行ったりして、山里に「笑い声」をこだまさせています。

○集落活性化事業

南さつま市金峰町長谷集落や笠沙町谷山集落で地元住民、大学生、NPO、行政等多様な主体の共生・協働による地域資源を活用した都市住民との交流事業など集落活性化の活動を行っています。

3 文化的活動の普及・啓発事業

日新公いろは歌カレンダーの販売に取り組んでいます。

4 施設等の維持管理、運営及び地域サービス事業 (「大坂ふれあい館」物産館事業)

「高齢者が作った農作物・花・小物」を販売して、喜ぶ顔を見たいという思いではじめました。少しずつ少しずつ成果が見え始めましたが、これからです。お客さんに喜ばれる「農作物」を協力しながら作っていきたいと思います。



大坂ふれあい館
所在地/〒899-3402 南さつま市
金峰町大坂3873-1
連絡先/TEL:0993-78-2431
営業時間/8:30~18:00
定休日/1/1~1/3



アクセス *access* (大坂ふれあい館)

- 鹿児島市内より車で30分
- 南さつま市加世田より車で30分



◀長谷集落での米作り体験
(集落活性化事業)
都市部の住民や大学生と協力して米作り体験を行っています。地元住民の皆さんに、指導や管理をお願いしています。



長谷集落でのシイタケ栽培▶
米作りと同じく、協力しあってシイタケも栽培しています。できたシイタケは、大坂ふれあい館でも販売しています。

みなみ ちょう りゅう 特定非営利活動法人 プロジェクト南からの潮流

代表者/田代昌弘
所在地/〒897-0003 南さつま市加世田川畑2770-32
連絡先/TEL:0993-52-7829 FAX:0993-78-3911
E-mail/npo-kaseda@mx61.tiki.ne.jp
ホームページ <http://cyouryu.com>

■受賞歴
平成22年 過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞
平成23年 第44回MBC賞
〃 南さつま市市民表彰特別表彰

活動事例 29

こそだ 子育てふれあいグループ自然花



平成22年11月に集落内の広場に立つエノキの木に高さ5mのツリーハウスを設置(枕崎市木口屋集落内)。ターザンロープや滑り台も備え、子どもだけでなく、大人にも人気の遊具になっています。ぜひ遊びに来てください。

団体の紹介 *introduction*

親子を対象に地域住民の知恵や農業などを活用した体験プログラムを用い、親子で共感出来る場を提供しながら、家族関係の良化を図り、子育て支援事業の定着化と活性化につなげていく「地域と連携した子育て支援事業」を実施しています。



七夕祭り(ソーメン流し~H24.7.7開催)



草木染め体験(親子体験ふれあい事業)

主な活動内容 *action*

1 親子体験ふれあい事業

土日や長期休みを利用した自然体験、農業体験、製作体験を行い、体験を通して共感する一日を過ごします。夏・冬には、地域住民の協力のもと地域資源を活かした体験イベントを実施しています。

2 一時預かり・放課後児童クラブ事業

平日、保護者の病気や急な用事の際に子どもを預かる一時預かりや放課後に保護者が不在の児童を預かる放課後児童クラブ(学童保育)を行っています。

3 相談事業

幼児から中学生までの子を持つ親を対象に子育てや不登校についての相談を受け付けます。

4 子育てサロン

親子で遊びに来てもらい、相互援助活動を行う場として開放します。

メッセージ
Message

自然花では、周りの豊かな地域資源を活かした、季節に応じた自然体験を親子で行います。体験を通して親子共通の感動や発見が生まれ、お互いの新しい一面に気付き、お互いが成長し合える環境作りへとつながります。今後も、地域と連携し、温かみのある子育て支援を行っていきたいと思います。

特定非営利活動法人 子育てふれあいグループ自然花

代表者／大脇治樹
所在地／〒898-0071 枕崎市美山町33番地
連絡先／TEL:0993-58-1888
Email / jinenka@jinenka.jp
ホームページ http://jinenka.jp

■受賞歴など

平成24年度 鹿児島県青少年育成県民会議表彰 団体の部
〃 鹿児島県パイロット賞 福祉部門
〃 鹿児島県コミュニティづくり推進協議会会長(知事)賞



自作マヨネーズで地元の食べ物を試食

団体の紹介 *introduction*

指宿の豊富な食材や人材、すべてを総合的にアピールできる場所を作ってみたい…との思いから、地元の若手経営者で実行委員会を結成。「いぶすきマルシェ」を開催しています。



毎回多くのご来場をいただいています。

主な活動内容 *action*

「マルシェ」とはフランス語で「市場」。新鮮な食材を得られる場であるほか、音楽をはじめとするさまざまなパフォーマンスや体験ブースがあり、休日の数時間をゆたかにすごせる、立派なレジャーとなっています。「いぶすきマルシェ」は、次の4つのエリアを主体とした総合空間です。

1 産直エリア

地元の新鮮な食材や加工品などを購入できるエリア。生産者・加工者にとっては、消費者と直接会話できる、自社製品・新製品のアピールの場ともなります。

2 手作り雑貨&フリーマーケットエリア

いわゆる不用品・リサイクルのマーケットのほか、地元アーティストによるオリジナル雑貨・作品などが購入できるエリア。

3 グルメエリア

海辺でゆっくりとランチ、ティータイムなどが楽しめるエリア。出店は地元飲食店で、第4回は30店舗近い参加があり、「食の町いぶすき」をアピールできました。

4 パフォーマンス・アピールエリア

大きく以下の2点の機能を持つエリア。
①人を楽しませるためのパフォーマンスを披露。
②商業的なアピールをする場(マイクパフォーマンス)。

メッセージ
Message

これまであまり交流のなかった、異業種間による新製品の共同開発に発展した例もあり、大きな成果を得ています。今後は、食育体験の充実でいぶすきの魅力を子供たちに伝えていきたいと考えています。

いぶすきマルシェ実行委員会

代表者／道下克雄
所在地／〒891-0406 指宿市湯の浜1-7-13
連絡先／TEL:0993-22-5828
Email / salut@dolphin.ocn.ne.jp
ホームページ <http://ja-jp.facebook.com/ibumaru>

■受賞歴など

第1回いぶすきマルシェ(平成22年11月14日)参加店舗70店舗、参加者約2,500名
第2回いぶすきマルシェ(平成23年5月8日)参加店舗63店舗、参加者約2,500名
第3回いぶすきマルシェ(平成23年11月14日)参加店舗83店舗、参加者約5,000名
第4回いぶすきマルシェ(平成24年11月10・11日)2日で参加店舗205団体、参加者約5,000名



活動事例 31

せいしやうねんじりつ
かごしま青少年自立センター

《就労準備体験》グループでの小松菜収穫

団体の紹介 introduction

様々な原因で学業や就労について困難を抱える青少年に対し、社会的自立を援助する活動を目的とする団体です。



協力事業所JA選果場での就労体験

主な活動内容 action

1 若者サポートステーション
「かごしま静活館」

義務教育終了後より40歳未満が対象。対象者および家族への相談助言と具体的な就労トレーニングを実施しています。希望者は合宿型による支援も行っています。

- ・指宿相談室
- ・鹿児島市相談室
- ・おおすみ相談室
- 〈共通相談予約〉

フリーダイヤル0120-54-1635

2 自立援助ホーム「ばらそる」(鹿児島市)
自立援助ホーム「静活館」(指宿市)

《合宿型施設》児童相談所の委託により20歳未満を対象に社会的自立に向け、学業および就労を支援しています。



支援施設(合宿型含む)静活館(せいかつかん)



自立援助ホーム「ばらそる」

メッセージ
Message

家庭や学校および職場での様々な問題により、「社会に通用しないのでは」との想いで立ちすくんでいる青少年に、「社会に通用する」との自信につながる社会参加のきっかけを提供し続けたいと考えています。

特定非営利活動法人 かごしま青少年自立センター

代表者／竹田 寿昭
所在地／〒891-0516 指宿市山川成川544番地
連絡先／TEL:0993-27-6466
Email / ysck46@m18.alpha-net.ne.jp
ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/seikatsukan/>

■受賞歴など
平成22年度 厚生労働大臣表彰
(若者の職業的自立への貢献)



「てんちの杜」(指宿市)での巣箱作り

団体の紹介 *introduction*

荒廃した自然や社会環境の再生と保全のためのまちづくりの推進と、植樹を中心とする環境保全に関する事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としている団体です。



魚見岳(指宿市)での森林ボランティア

主な活動内容 *action*

1 「てんちの杜」観察環境整備事業

地域の住民や子ども達と一緒に「てんちの杜」の樹木に名前などを記した銘板を取り付けたり、鳥の巣箱を作成・設置したりしながら、森林の役割や自然環境の大切さを学んでもらう事業を実施しています。

2 魚見岳「市民の森」事業

魚見岳の市有地の一部を借用して、雑木林となっている部分を整地し、市民参加による「市民の森」をつくる事業を実施しています。

3 いぶすき野鳥観察場の設置

さまざまな野鳥や水生昆虫等が観察できる貴重な場所に、駐車場や看板を設置して環境を守るとともに、子どもたちへの学習の場などに活用する事業を実施しています。

メッセージ Message

縄文の森をつくろう会は、自然と共生できる故郷の環境づくりに努力しています。変わってしまったこの故郷を少しでも昔のように戻したいという思いから、植栽を中心に「出来る人が出来るときに」との考えで、故郷にある巨木の調査・保全、照葉樹の植栽、海岸清掃、山林の保全、揖宿神社ピオープなどの活動をとおして、身近な自然と触れ合える環境づくりを目指しています。また、地域文化の継承と創造にも努めています。

特定非営利活動法人 縄文の森をつくろう会

代表者／今村俊一
 所在地／〒891-0401 指宿市大牟礼1丁目3-14 パナンまるい内 縄文の森をつくろう会事務所
 連絡先／TEL:0993-22-4255
 Email / info@jomon-no-mori.com
 ホームページ <http://ibusuki.jomon-no-mori.com/>

■受賞歴など
 平成21年度 第42回MBC賞
 市提案公募型補助事業(森林環境税を活用)を実施



活動事例 33

ほん ひと かい
本と人とをつなぐ「そらまめの会」

絵本作家 サトシンさんの講演会(山川図書館)

両手を開いた様子を本に見立ててお話を作っていく「おてて絵本」の普及活動を行っているサトシンさんをお招きし、親子で楽しめるおてて絵本のやり方や、絵本の創作秘話、子育てのことなどを語っていただきました。

団体の紹介 *introduction*

本や読書に関心のあるメンバーで出張おはなし会や作家さんを招いて講演会活動等を行っています。また、市の委託を受け、公共図書館の管理運営も行っています。



絵本作家 よしなが こうたくさんの講演会(山川図書館)
博多弁での絵本「給食番長」の読み聞かせや、子ども達参加のワークショップ(ペイントライブ)などを行いました。



「絵本deおやつ作り」(柳田校区公民館)
「ルルとララのわくわくクレープ」という本に出てくるクレープを親子で作っています。クレープの粉には、地産地消の意味合いを込め、指宿市の特産品オクラを使った「おくらパウダー」を混ぜた粉を作りました。

主な活動内容 *action*

1 講演会の開催

地域の子どもたちに、直接作家さんと触れ合える機会を作りたいという思いから、助成金等を活用し作家さんを招き講演会等を行っています。

2 子育て支援

毎年、夏休みに、本に出てくるおやつを親子で作るイベントを開催しています。地域の食材を利用し食育について考えたり、関連本の紹介もしています。

3 公の施設管理運営

指宿市の図書館2館(指宿図書館・山川図書館)の指定管理者として、平成19年度から図書館運営を行っています。

メッセージ
Message

本を通じて様々な活動を行い、多くの方とのつながりを作っていけたらと思っています。本の楽しさや可能性を伝えていきたいです。

特定非営利活動法人 本と人とをつなぐ「そらまめの会」

代表者／出森 郷子
所在地／〒891-0402 指宿市十町2290-5
連絡先／TEL:080-6430-2827
Email／55npo-soramame-book@ezweb.ne.jp



民泊型教育旅行事業。関東からの修学旅行生にサツマイモの収穫作業を体験してもらっている様子です。(H20年10月実施の修学旅行生民泊受入(日置市吹上町))

団体の紹介 *introduction*

グリーン・ツーリズムによるまちづくり活動、環境保全活動などの取り組みを通じた環境共生型社会の実現に取り組んでいます。



サンゴ保全事業。透明カヤックからサンゴ礁を鑑賞している様子(H24年10月実施のサンゴツアー(南さつま市坊津町秋目沖))

主な活動内容 *action*

1 民泊型教育旅行事業

修学旅行生の民泊受入を通して、地域住民に対して、子どもたちとの交流の機会を提供しています。地域住民に働きかけ、受入家庭に田舎の教育力を発揮して頂くことで、豊かなまちづくりや生きがいつくりの推進を図っています。(地域の受入体制整備, 集客, コーディネート)

2 森林保全事業

地域の林業従事者と、下草刈り, 間伐・除伐, 植樹などの森づくり, 木材加工, 森林乗馬, ネイチャーゲームなど, 森での体験活動を通して森林の保全や機能の紹介に取り組んでいます。(企画・運営)

3 サンゴ保全事業

南さつま市坊津町の方々, 秋目沖のサンゴ群生の研究・調査, サンゴの食害生物の駆除活動, バスツアーなどの実施を通して, 多くの方々に坊津の海の素晴らしさを知って頂くことで, より活発なサンゴ保全活動の推進を図っています。(坊津地区漁協とダイバーをコーディネート)

4 アートプロジェクト事業

地域の方々と力を合わせて, アートという手法で, 川や集落などを主な対象に南薩摩の魅力を引き出し, 環境共生型社会の実現に向けたメッセージを発信しています。(企画・運営, 地域とアーティストをコーディネート)

メッセージ Message

民泊型教育旅行事業は、地域の第一次産業等の活性化はもちろん、受入農漁家の人たちが指導者となり、中高生への農・漁業や生活の知恵、技を伝える環境づくりにつながります。また、元気な高齢者が住む地域づくりとして福祉分野に寄与することもできます。これからも引き続き元気な郷土づくりに貢献したいと考えています。

特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

代表者 / 下津公一郎
所在地 / 〒897-0006 南さつま市加世田本町53-6
連絡先 / TEL&FAX:0993-53-7270
Email / desk@eco-link.jp
ホームページ http://eco-link.jp/index.php

■受賞歴など
平成23年度 鹿児島県コミュニティづくり推進協議会 優秀賞
平成24年度 グリーンツーリズム大賞(毎日新聞社) 優秀賞



活動事例 35

え い かい
穎娃おこそ会

番所・釜蓋シーサイドウォーキング(南九州市穎娃町～H24.6.23実施)釜蓋神社到着後の集合写真。
同ウォーキングは、番所鼻自然公園から釜蓋神社間の2kmの海岸線をガイドと歩くイベントで毎年開催
していますが、今回は第1回ばんどころ絶景祭りの一環で実施しました。

団体の紹介 *introduction*

生産人口の減少に危機を感じ、「総力戦
で生き残れ」をテーマに様々な角度より
地域の活性化に取り組んでいます。



芋植え(南九州市穎娃町～H19.4.16実施)。
まちおこし焼酎「穎娃」用の唐芋苗植え。自分たちの芋だ
けで造る焼酎はここから始まりました。(南九州市西山農
園にて)

主な活動内容 *action*

1 まちづくり事業

視察、勉強会、パネルディスカッションを開催し、まち
づくりの啓発、仲間づくりを行っています。

2 特産品事業

土作りからこだわり、会員自らが苗を植え芋掘りをし
た穎娃産の芋だけで造った、まちおこし焼酎「穎娃」
を商品化し販売しています。

3 観光事業

①観光拠点づくり

県や市の協力も得て、釜蓋神社、番所公園、大野岳等の眠っていた宝を観光地として磨き上げ、観光マップ
「えい日和」や案内看板を作成し、メディアに取り上げられて多くの集客効果をあげています。

②グリーンツーリズム育成

修学旅行生体験民泊の受入家庭を増やすため勉強会を開催し、穎娃の野山や畑、海岸線を活かした体験プ
ログラムを開発しています。

メッセージ
Message

6年間の成果は芽が出つつあり、活性化に有望な観光に力を入れています。若者や女性の感性をより生か
せるNPO法人でありたいと考えています。

特定非営利活動法人 穎娃おこそ会

代表者／西村正幸
所在地／〒891-0704 南九州市穎娃町別府5202 いせえび荘内
連絡先／TEL:0993-38-0160 FAX:0993-38-2721
Email / iseebiso@coffee.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.facebook.com/EiokosokaiKanko>



活動事例 36

ふく し そう だん 福祉相談センターにじ



男談事業(子ども会との交流)

団体の紹介 *introduction*

公的な制度だけでは、地域の支え合いは困難になっています。社会保障のすき間を埋める活動を行いながら、新たな支え合いの形を模索しています。1つの団体の活動には限界があります。これからは、他団体との協働活動が重要になると考えて活動しています。



男談事業(刃物研ぎ支援)

主な活動内容 *action*

1 男性の居場所づくり 男談(だんだん)事業

仕事中心で生活してきた男性は、地域の中でネットワークを築けない方がおり、現役を退くと自宅以外の居場所が少ないです。また、公的サービスは女性が利用主体となっているため、男性はその中に入れず孤立する場面も見られます。誰もが人とつながりながら暮らせるような居場所づくりに自治会と協働で取り組んでいます。



自家栽培そばの収穫

2 共感ボランティア養成・派遣事業

ボランティア講座を毎年開催し、福祉の理解を広げる活動を行っています。併せて、ボランティア登録した方を「地域の応援団」として施設や自宅に派遣し、人がつながる生活が送られるよう支援しています。平成24年度からは、この活動が南九州市全体に広がるように、地域の社会福祉協議会と協働で取り組んでいます。



一人暮らし宅の庭の草取り支援

メッセージ Message

活動を展開する中で、地域の支えあいは、自治会単位だと強く感じています。お互いに顔の見える関係を築きながら、人の縁を大切に活動を行っていきたいです。

特定非営利活動法人 福祉相談センターにじ

代表者 / 上村修
所在地 / 〒891-0703 南九州市穎娃町御領6538
連絡先 / TEL:0993-38-0441
Email / nizi38@po4.synapse.ne.jp

■受賞歴など
平成23年度 「男性の地域活動への参画 好事例集」
全国ベスト23選出(内閣府男女共同参画局主催)



各地区探検隊作戦会議。
地域のことを自分達で感じ、発見していくための作戦会議。

柳田校区自治公民館連絡協議会

代表者／竹下章雄
所在地／〒891-0402 指宿市十町169番地2
連絡先／TEL:0993-24-4166

団体の紹介 introduction

指宿市立柳田小学校区内にある12の自治会からなるコミュニティ組織。団体会員数は約2,600世帯(約7,100人)

主な活動内容 action

1 地域が気づく“やなきた十二ひと絵図”の取組

自分達の地域を知ることから互いのつながりを強め、くらしの安心・安全や協働のまちづくりを進めていく。そういったことを目指しながら、地域の見える化活動として、様々な地図づくり(やなきた十二ひと絵図)に取り組んでいます。



やなきた十二ひと絵図



絆プロジェクト。要援護者支援や防災のためのマップ作りに取り組んでいます。





コミュニティ・プラットフォームとは？

「コミュニティ・プラットフォーム」とは、住民自治を進めるための地域コミュニティの組織形態の一つで、「近隣自治組織」と訳しています。

具体的には、市町村の中を自治会等よりはやや広い、小学校区などの区域に分け、それぞれに住民を代表する組織を設置し、地域を運営していくための一定の財源や権限を委ねて、地域の自主的な活動を推進していく地域内分権の仕組みです。

現在、この一例として、薩摩川内市においては、市内全域に48の地区コミュニティ協議会が設置され、住民自らが策定した地域づくり計画に基づき、自主的な活動を展開しています。

「活動事例38」(次ページ)で紹介しているのは、「峰山地区コミュニティ協議会」の活動事例です。

コミュニティ・プラットフォームの一形態

